

刊夕 日六廿月一



定価 一冊五錢 一月五拾五錢 半年二圓二拾五錢 一年四圓  
廣告料 五錢 印刷費 一錢 行金 五拾錢  
日曜 休刊 祝日 休刊  
発行所 常警毎日新聞社  
印刷所 常警毎日印刷株式会社



虫 (創作)

小山 眞樹

私は籠の中に飼はれた一匹のがぢや蟲です。まあ、私の話を聞いて下さい。私の主人程わからずやはありません。(と言つて話し出した)

私は現在の主人に飼われる前までは楽しい夢を見てゐる様な生き方をした。来た者なのです。何人の恐喝も壓迫も無く自由に野を跳ね廻つて来た私でした。

一点の雲もない空に清く冴えてゐる月を望んで自由に思ふ存分に一夜を泣き明かす事の出来た私の生活でした。これで一生を暮らし得ると思つてゐたのです。それは私の誤まりでした。私の姿を、聲を、聞きつけた人間共はだまつてはあなかつたのです。

私の身体を求めやうとして今晩明るい氣持を持つた私を射落さうとしてやつて来たのです。私は人間共の手に渡される事は實に厭た

つたのです。私は姿を窺から窺へ草から草へと逃込んだのでした。

でも、人間共の目は私の逃げ込む場所を知つて居たのです。私は明るいランプに照らされて発見されてしまつたのです。

その時程、私は恐ろしいと思つた事はありませんでした。私はおののきの爲めに身動きも出来なくなつてしまつたのです。あの大きな手が私の身体の上のしにかつてくるのではありませんか。私は大きな聲を立てられず唯心の中で救ひを求めたのですが、私の友達も聲一つ出しません。みんな押し込まつて私の生捕りにされるのを黙つて見てゐるのです。

ノート

トランプの汚れは粉石鹸を水にとかした糊状のものを小布につけて一枚宛拭き後を乾いた布でこするのです。

私はくやしかつたのです。でも今となつては仕方がありませんでした。私は断念したのです、私の住んでゐた野邊に別れを告げてシヤンデリヤの下でメラコンリヤな一日一日を暮らすことになつたのです。

主人も初めの中は實に親

切で、食物に實においしいものばかりでした。梨の大きい奴を投げ込んでくれるし、南瓜のおいしい肉のある所を食へさせてくれるのです。私の野原で食べた物とは全然違つてゐました。私の今まで食べた事のない物をくれました。

- 【朝】牛乳 トースト パン バタ みかん
- 【晝】バターたぬき 玉子 玉葱 ソース
- 【晩】いか鍋 いかうどん 焼豆腐 花かつを 小付 富貴豆

私は初めの恐怖観念はだん／＼薄らいで来たのです。それで私は安心して元氣よく毎晩毎日泣き續けました。愉快な氣持です。

でもだん／＼月日が流れて行く中に主人の行動は變つて来たのを私は見落さなかつたのです。それは私を可愛がつてくれない事、食物が悪くなつて来た事、満足に三度々々に食物を與へない事、與へても食べのこりをくれる事、なすのしりつべたばかりくれる事、新しい食べ物はしまつて置いて古くなつて食わせる様になつた事、一から

十まで初めの行動とちがつて来たのでした。それは主人の初めからの計劃だつた事を今になつて私は知つたのです。主人はよく人々の前で言つた事を聞ききました。耳を

開けて居れない程好く泣いたがぢや蟲なのだが、最近泣かなくなつた、どうも不思議だ。食べ物はどうして食ふのたがさつぱり泣かんあまり食べ過ぎてゐるかも知れないから少し減らして見るとえい、などと云ふのでした。私は泣きたい様な氣持で食べ物をもノドを通らない程胸がこみあげて来るのを覺えました。

夜、主人達が寝に着く時などは厚い蒲團にくる／＼くるまつて床に着くのです。私のことなぞわすれ勝ちで外へつるした儘はうりばなしになる様になりました。

むしろ私はお友達と楽しく山野邊で泣き暮し、時を追想しつゝ、しびれたな聲で寒くなるまで食物物を與へられないまで、泣き續けて行かなくてはならないだらうか。(終)

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める川崎巡回文庫 電話六三〇番 (申込次第規則書進呈)

市原醫院 平町 田町 電話二一四番

株式賣買債權取立 合資 三共商事

福は内會... 會員募集 二月四日(舊正月元日) 午後一時修祓、一時半家内安全祈禱 二時豆蒔執行、二時半世話人祈禱札 並に福豆を分配す。

事務所 扇屋旅館内 電話一六五番

星一氏歐米歸朝歡迎茶話會

一、郷土の大先輩星一先生昨秋十月二十五日横濱出帆紐育に於て大成功裡に國産キユーネの生産及び輸出に關する商談を完了の後、伊太利、佛蘭西、英吉利、獨逸蘇聯邦、滿洲の各國を歴訪して出發以來六十六日目の舊各三十日無事歸朝致しました。

二、今回この國家的事業完成に就いてしたしく祖先に報告すべく展墓の爲め二月六日出生地錦村に參ることになりました。就いては此際新しき重要國産品の生産と其の海外雄飛に對する先生の勞を稿ひ且つ輝かしき成功を祝福致し度又先生の歐米視察談を聴くべく左記の如く歡迎茶話會を開催致します。

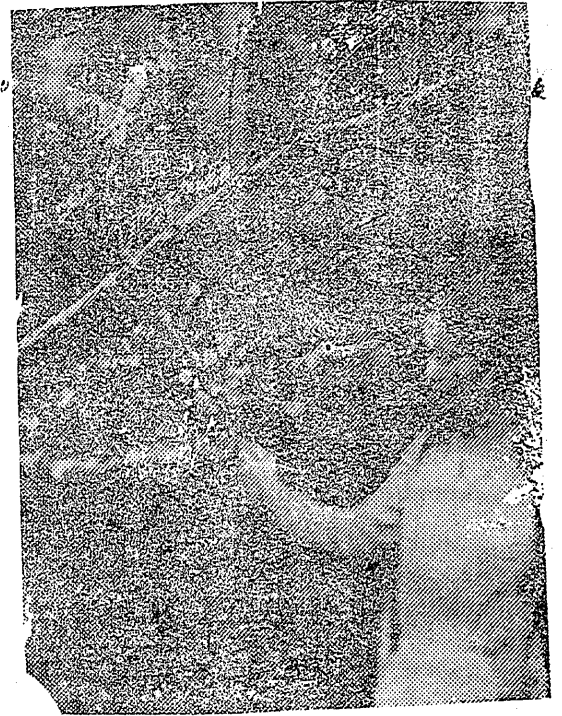
當日は正午後五時半開會し七時終了の豫定で御座いますれば何卒御繰合せ御臨席賜はり度此段御案内申上げます。

一、日時 二月六日(舊正月三日)午後五時半  
一、場所 平町四丁目角 マルトモホール  
一、會費 金五十錢

發起者 星一先生後援會

追而廣告を以て通知にかいます。會場準備の都合も有りますれば御返事相煩し度願上ます

魁けて香る梅



### 庶民金庫が

### 昨日總代會

### 剩餘金を處分

### 貸附金と貯金取扱額

平庶民金庫は昨日午後二時から總代會を開き昨年度の決算を附議し剩餘金七千四百十七圓六十八錢を左の如く處分した

準備金一千八百九十四圓四十六錢、配當金三千九百六十三圓廿二錢(年四分)役員賞與金五百六十分、役員退職給與基金五百圓、特別積立金五百圓

尚ほ同金庫の現況は貸付金が廿五萬五千五百廿五圓八錢、又貯金取扱額は卅三萬六千六百廿九圓十三錢にて其内譯左の如くであると組合貯金十一萬九千四百十九圓十五錢、家族貯金十四萬九千二百十五圓十

### 圓六十三錢 各村産組總會

石城地方の産業組合は總會開催期に入つたので各地に總會を開れるが本廿六日以

### 古川改修を

### 河川課長に陳情

内務省の高橋河川課長は郡下の河川工事視察の爲め本日勿來驛に下車、直に姪田川、矢田川、鮫川等の改修工事場を視察して來平されたので青沼町長其の他は古川改修の促進方を陳情した

### 土木工事

### 縣費補助

### 指令が到達

縣費補助を申請中であつた川部村の災害復舊工事に對し縣では六百八十七圓の補助を決定、同く田入村の橋

### 高麗橋を中心として

(56)

### 眞木翁の懷古事談

### 奇傑 江政敏 (14)

江が晩生に於いて最も繁かつた知名の士としては奥田義人、大岡育造、井上角五郎、田村新吉(神戸貿易商現貴族院議員)澁谷正吉

後の分左の如くである

- (廿六日)飯野 湯本(廿七日)江名 大野 大浦 平窪(廿八日)小川(廿九日)高久

### 林野保護

### 組合長會

既報平野管内林野保護組合長會議は明廿七日午前十時より平野會議室に開かれ豫算決算を附議する平野より提出の注意事項左の如くである

- 一、無許可林野火入の件
- 一、會費納入の件
- 一、林野火災豫防の件
- 一、愛林思想普及の件
- 一、林野巡視實行の件

### 十二萬人の免囚に 自營會の濶かい手

幾多の免囚者に濶かき手を伸べてゐる平自營會の昨年度中に於ける業績は收容保護男九十三名、女一名、間接保護男七十六名、女一名計百七十一名で夫々旅費や衣類を惠んだ外直接保護者に引渡したのが四十七名、職業を紹業した者十名、一停

### 研究發表

### けふ修養會で

既報平野各小學校職員より成る修養會は今二十六日午後二時から第二小學校作法室に開き左記訓導の研究發表あり餘興として第二校米本訓導の尺八獨奏及び福引等があつた

### 磐女卒業生の 保護者住所別

### 保護者住所別

過去十ヶ年間に於ける磐女卒業生保護者の現住所別は左の如くである

- 平五八〇 内郷一四八
- 湯本一三五 好間七一
- 赤井六四 四倉六〇 植田四五 磐崎三六 勿來三五 小名濱三三 泉三〇 草野二八 大浦、平

### 篠山校長歸平

少年教護法講習會に出席の爲め出福中であつた平第一篠山校長は昨夜六時二十二分着で歸校

### 平野人事

- 北目町一三一 當時茨城縣猿島郡岩井町四六三九神林專一氏長男啓一
- △南町一 當時東京市城東區龜戸町二ノ七〇酒井男能一氏三男力也
- △死 亡
- △鍛冶町九 當時茨城縣多賀郡日立町字官出小林茂(四ツ)

### 離婚が因で

## 眞ッ逆様

### 倫落の淵へ

#### 前借踏み酌婦の 秘められた哀話

植田町四五松之助四女佐藤ヒサ(三九)は去る廿五日「前借踏み酌婦」の汚名で茨城縣龍ヶ崎署に檢舉され目下同署より實家に引取方を交渉中であるが同女は廿一才の時東京土木局技手島根縣生れ木佐謙次郎氏と結婚し二子を擧げたが姑との折合が悪く離別となり長野縣中込驛前料理店高砂へ前借五十圓で住込んで

## 六十枚橋で

### 自動車墜落

#### 橋板が腐朽して

#### 車臺は大破

平町白銀町松崎自動車店の佐川運轉手が昨廿五日正午頃トラックに大豆を満載して草野地内夏井川の六十枚橋に差懸つた處橋板が腐朽して居た爲め河中に墜落車体を大破したが幸ひ運轉手は傷一ツ負はなかつたと、尙同橋は腐朽甚だしく近く掛け替工事に着手する豫定であつた

### 白鳥君が除隊

平町 應匠町白鳥謹一君は此の程

### 師團參謀

#### 査閲に臨席

既報警中及び平商の教練査閲は明二十七日(平商)及び二十八日(警中)の二日間第二十九聯隊長齊藤大佐に依り執行されるが第二師團參謀

### 舊暮の貧困者に

#### 夫々餅代を贈る

平町役場は舊正月も迫つたので市内の貧困者に餅代として二圓乃至五十錢の救済金を贈る爲め來る廿八日午後二時から横山平署長及び各方面委員を招き協議會を開くと

### 白米袋を

#### 配給する

警崎村役場は村内から募つた白米の寄附が四合入五百

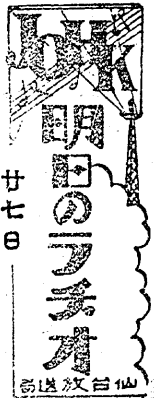
### 不覺の若妻

#### 乳房の恨み

湯本町字吹矢青物商熊谷幾太郎妻キヨ(三九)は去る廿四日午前六時頃添寝の長男清(二)を自分の乳房で口腔を塞ぎ窒息絶命したのを發見

### 放火檢舉表彰

湯本 消防組頭伊坂千代松氏は放



廿七日

今晚も明日も北西の風晴曇半す

今晚の部  
後六、〇〇 子供の時間  
歌とお稽古 武岡鶴代  
後七、三〇 子供と家庭の夕 數種  
後九、一〇 時事解説  
後九、三〇 時報 ニュー! 氣象通報 番組豫告  
明日の部  
謀落合甚九郎中佐が臨席す

前七、〇一 猪狩實況—京都府愛宕郡雲岩ヶ畑屋谷中繼  
前九、三〇 子供の時間  
歌とお稽古 武岡鶴代  
前一〇、〇〇 日曜勤行  
東京市芝區愛宕町青松寺中繼  
前一〇、四〇 講演「緯度の観測」岩手縣緯度観測

所技師 川崎俊一  
前一、〇一 講演「最近哲學の趨勢と日本思想傾向」京都帝大教授文學博士山内得立  
後〇、五〇 滿洲より「北滿の現況」日蘇通信店長近藤義晴  
珍奇演藝の午後  
後一、二〇 珍藝ジグズ  
翁家さん馬  
後一、三〇 祭文「俠客觀音丹次」仇討—山口一鏡  
後一、四二 浪花節劇「南部坂雪の別れ」高島屋ベ右衛門一座  
後二、一七 観からくり

「八百屋お七」田中新松外  
後二、二七 但論十一月千代外  
後二、三三 チャルメラ音  
樂長崎市中村嘉造社中  
後二、四七 座談會—上海を語る—野戰軍砲兵第一聯隊附陸軍砲兵中佐田中隆吉  
後六、〇〇 子供の時間  
管絃樂日本放送交響樂團  
後六、二五 産業ニユース  
後七、三〇 謠曲 水道橋  
寶生會快樂堂より中繼  
後八、三〇 舞臺劇「葛紅葉宇都谷峠」阪東三津五郎座

### 磐城丸動勢

#### ピン長漁獲

小名濱水産試験場の磐城丸は去る廿三日ピン長鮪三十尾を三崎港に水揚して小名濱に歸港したが今廿六日再び出港茨城沖合千四百五マイルの地点で本年第二回の漁撈指導に着手する小名濱歸港は來月廿日頃である

### 人絹工場目指して

#### 岩手縣の若者が家出

岩手縣西磐井郡一開町東在王町左官職鈴木信一(三七)は昨年十一月迄茨城縣日立礦山で働いて居たが去る廿日錦村に新設される人絹工場で働くことになり家出した儘行衛不明となつたが同人の實母タツさんは最近馬に腹部を蹴られ生命危篤なので母の生前是非歸宅させ度いと父親辰次郎さんから平署へ搜索願出た

### 昨日の當籤者

平町 吳服店聯合賣出昨日の福引當籤者左の如し  
(特等)鎌田住吉樓(二等)内郷馬目酒店(二等)同  
玉川齋藤ミツ 豊間小松 義春 胡摩澤小谷野某

### 材木町衛生組

平町 材木町衛生組合は此程役員改選の結果左の如く決定し

組屋衛生組員 平町 紺屋町衛生組合は今回役員を左の如く改選した  
(組合長)瑞幸吉(組合長代理)山野邊大五郎(世話係)吉田寅之助 松田榮 橋 大高剛太郎 久野繁 治 大谷文夫

### 河村教諭除隊

昨年 一月濱田歩兵第二十一聯隊に入營の爲め休職中の警中教諭河村饒氏は昨二十五日除隊復職した

### 平職業紹介所報告

回人を求める方  
△飲食店女中 二十迄 月 四一五圓位  
△小店員 十七才 尋卒 月六一七圓  
△職を求める方  
△外交員 二十一才尋四修  
△商店雜役 二十八才 公民校卒



# 明治太平記

(上無断録)

(作) 寺島証史  
(畫) 野口 運

## 第三十九回

### 大官と野人(十)

『では浪人者大志賀市之丞が火急の用件で面會いたしたいと斯様に申せ』  
『はア』

女中は、あたふたとその場を去つたさうなが、かへつて来ない。  
『はやくせい』

大志賀は、いらだつしさに幾度か叫んだが誰も應答するものがなく、しんとしてゐる。  
『は、はやくせい』

するとそれへ、のつたり現れたのはさつさの女中でも苦い顔をした女將でも大隈自身でもなく蝦夷から来たといふ怪漢だつた。  
『ほう、おまへさんかね大隈の旦那に用があるといはつしやるのは……』

熊の目のやうな鋭眼先でじろり對手を見据えた。  
『おぬし誰ぢや』

『わしかね、おれは濱の家第一等の座敷で校書を對手に酒をのんでをる大切な客でござわす』  
『そ、それを訊ねるのではない、何んの爲にこれへ出て參つた?』

『そのことか、おまへさん』

頻りに大隈の旦那に呼びかけてなざるから代りに應對に出て来てやつたのさ、わしかい、わしは大隈さんの友達ぢや』  
反身になつて大きく構へた。



『何に?』  
『用向きは何んなりこのわしに云つてみなされ、取次して進ませる』  
『取次ではいはん、大隈と膝詰談判ぢや、退けい』  
『いや、めつたに上らせはせんぞ』  
大手をひろげて立塞がつた。

『ようし、おのれから先だ』  
大志賀はふところ呑んでをる短刀の鞘を拂つた。  
『ほう、味な真似をするのう、やれるならやつてみい松前者の腕つ節をためしてみるのもよからう、さア來い、エトロフの高田屋漁場の取締所茂平次をしらねえのか』  
双肌を脱ぎ大手をひろげて敵を迎へた、その膽力のかつぶくさすがの大志賀も一舉に對手を衝くことができなかった。  
ギラリ抜いた兇器の引込

みがかなくなつてゐるところへ松前者の所茂平次の連れ芳の芳三郎がそれへ姿をみせた。  
『お、あんたは……』  
彼はざんばら髪の大志賀の顔を見ると懐かしいやらうらめしいやらでおもはず叫んだ。  
大志賀もさういふ芳三郎

に眼を轉じた。  
『芳三郎だ』  
『へい』  
『あのときは何故に姿を隠したな』  
すると芳三郎は口惜しうに

『何故とア情ねえな、大志賀さんあんたのおかげで彰義隊殘黨の一人とにらまれ石川島の禁獄舎へつながらたのをあんたは知らねえのですかい』  
『やはり、事實だつたのかしかしお主出世したなア』  
『なにが出世ですかい』  
『濱の家のごときせいたくな料亭にあがれる身分になれたぢやないか』  
『そ、そいつつアちがひますよ』

△廣告▽  
自一月二十二日 福引大賣出し  
至同二十八日

◆御買上金三圓毎に福引券進呈◆  
景品は各店頭に出積! 御贈答用に御仕着用に御買求めはぜひ加盟店より……各店獨特の新柄織元直仕入新安値品豊富に取揃へ奉仕の大廉賣致します  
◎贈るに便利受けて重寶な商品券 御利用下さい

平二丁目	伊關 吳服店	平榎樋小路	松屋 吳服店
平五丁目	小野 吳服店	平古鍛冶町	安積屋 吳服店
平土橋	渡邊 吳服店	平研通	北川 吳服店
平川	川又 商店	平三丁目	三井 吳服店
平鍛冶町	吉田屋 吳服店	平新川町	諸橋 吳服店
平新川町	谷屋 吳服店	平一丁目	仙臺屋 吳服店

店主	か	正	正	正
を運	れる	シ	シ	シ
れて		イ	イ	イ
行		酒	喫	食
		場	茶	堂

平・田町  
サロンの  
電二五三番

木村外科醫院  
平町六丁目橋際  
電話三〇九番

破魔弓と  
羽子板を  
陳列致しました  
御子様の御祝に是非!

平・四  
電九五

スガノヤ提灯店

中野齒科醫院  
院長 日本齒科 醫學士 中野 惠次  
日本齒科 醫學士 西川 誠  
平町田町(松月堂向ヒ)  
電話五〇九番

商店各位へ急告  
年末年始の賣出し景品として例年好評を受けて居りました當店發賣の漆器に加へて本年は實用雜貨を種類豊富に取揃へて各位の御満足を得て居ります。餘日もなくなりました御準備は一日も早いが得策に御座います。御座います。御座います。是非一日も早く御準備を御一報次第直ちに各種類の見本を持參致します。

各國産漆器  
卸商  
漆器店  
平町三丁目北裡通  
電話(呼)四八一番